

今回初めて三溪園を訪れましたが、このような場所が横浜にあったのかと大変驚かされた。

園内に入ってまず感じたのは、その規模の大きさ。広大な敷地に延々と広がる緑、趣のある古建築等、ここが横浜であるということを忘れさせる景色だった。日本伝統であるはずのこの風景が、現代の景色を見慣れてしまっている私には逆に、リアリティのない妙な感覚になった。

建物も日本の木造建築の良さを改めて感じたような気がする。食事を頂いた部屋の、縁側を介して庭と一体となったかのような開放感是非常に心地良いものでした。また、建物を造る大工の細かい職人技、良いものは木造住宅だろうが何十年もその機能を保ったままでいられると言った川幡氏の言葉が印象に残っている。

今回の見学で改めて日本文化の良さを感ずることができた。自分がこれから計画する物件でも、こういった心地良い空間をもった建物になるように今回感じたものを役立てていきたい。

